

活性汚泥モデルの実務利用の未来を語る公開セミナー

ー 活性汚泥プロセスの合理的な設計と運転をめざして ー

主催：活性汚泥モデル研究会（代表：東京大学 味埜俊）・共催：土木学会環境工学委員会

趣旨および目的

活性汚泥モデルに関する技術評価が下水道事業団により始まり、今年度中にはその結果がまとまる予定です。昨年の下水道法施行令改正における計画放流水質への対応、あるいは、審議中の新下水道法におけるNP排出枠取引などへの対応が必要になる中で、モデルを実務に利用し、活性汚泥法の設計・運転管理を合理化していく動きはこれからますます重要になると予想されます。本セミナーは、そのような時期に、活性汚泥モデルの利用とは具体的にどういう事か、モデルを使って何ができるか、また、結果として下水道システムの将来にどのような影響を与えるのかを考えます。現状や問題点だけではなく、その可能性を語ろうという思いを込めて「活性汚泥モデルの実務利用の未来を語る公開セミナー」とのタイトルを付けました。自治体・企業・大学・研究所などの実務者・技術者・研究者の幅広い参加を期待いたします。

開催日時

平成17年7月5日（火）13:30-17:30

開催場所

東京大学農学部 弥生講堂一条ホール（東京メトロ南北線「東大前」より徒歩1分）

プログラム（案）

- 13:30 開会挨拶（東京大学教授 味埜 俊）
- 13:35 基調講演：日本の下水道システムの将来と活性汚泥モデル
（東洋大学学長 松尾友矩）
- 14:15 活性汚泥モデルの実務利用の展開（日本下水道事業団 糸川浩紀）
- 14:45 IWA 活性汚泥モデルについて（東京大学 味埜 俊）
- 15:00 ー 休憩 ー
- 15:15 活性汚泥モデルシミュレーションソフトウェアの現状と未来（江守商事 掃部輝昭）
- 15:35 活性汚泥モデルの利用～その将来像
 - (1) 制御技術（東芝 小原卓巳）
 - (2) 施設設計と運転管理（日水コン 野田慎治）
 - (3) 処理プロセスに関する技術開発（栗田工業 安井秀斉）
- 16:45 活性汚泥モデル研究会からの技術報告
 - (1) CFD (Computational Fluid Dynamics)の廃水処理への応用
（東京大学教授 古米弘明）
 - (2) 活性汚泥モデルの実務利用と規格化（オリジナル設計 武田誠一郎）
- 17:25 閉会挨拶

参加費・申し込み方法

参加費無料。電子メールかファックスで、下記の宛先まで事前に申し込んでください。

申込先・問い合わせ先

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学工学部都市工学科気付

味埜 俊（新領域創成科学研究科・環境学専攻・教授）

TEL: 03-5841-6250 Fax: 03-5841-8531 電子メール: mino@k.u-tokyo.ac.jp

活性汚泥モデルの実務利用の未来を語る公開セミナー（参加無料）

参加申込用紙

東京大学新領域創成科学研究科 教授 味埜 俊 宛に電子メールかファックスでお送りください。

FAX : 03-5841-8531

Eメール : mino@k.u-tokyo.ac.jp

標記セミナーに参加を申し込みます。

| | 氏 名 | 所 属 | e-メールアドレス (もしあれば) | 電話番号 |
|----|-----|-----|----------------------|------|
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |
| 7 | | | | |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |